

# 新会長



古河電気工業株式会社  
取締役会長

小林 敬一

1959年生まれ。1985年早稲田大学大学院理工学研究科修了後、古河電気工業入社。研究所、工場勤務ののち、原価低減推進部長、巻線事業部長、銅条・高機能材事業部門長、自動車・エレクトロニクス材料事業部門管掌、グローバルマーケティングセールス部門長などを経て2017年4月に代表取締役社長就任。2023年4月取締役会長に就任。北海道室蘭市出身。

# 北海道倶楽部

# 100年を超えて次の未来へ

# 新理事長



有末 真哉

1958年生まれ。早稲田大学教育学部卒業後、1980年三井生命（現大樹生命）に入社。保険数理を専門に扱うアクチュアリーとして事業統計・生命表・収益管理・商品設計などの業務に携わる。会社生活後半は経営の領域に身を置き、主計部長・企画部長・常務・専務を経て2013年に社長就任。在任中は生保協会副会長、経団連常任幹事などを歴任。取締役会長・顧問を経て2022年退任し現在に至る。曾祖父有末孫太郎は元屯田兵、大伯父有末精三陸軍中将は元倶楽部会員、自身も中学高校5年間を札幌で過ごすなど北海道に深い縁を持つ。東京都出身。

2019年（平成31年）から会長を務められた川村氏より、その役目を引き継ぐこととなりました。新渡戸稲造博士らが創設された北海道倶楽部は、まもなく100周年を迎えます。この歴史を守るだけでなく、次の100年へどう繋ぐか。倶楽部の歴史の重みを感じ、そして紡ぎつつ、改革の歩みをさらに加速することが必要です。

北海道は今、食料、エネルギー、GX、観光など、日本の未来を支える大きな可能性を持つ地域へと変わりつつあります。だからこそ北海道倶楽部もまた、「親睦の場」に留まるのではなく、北海道と日本の未来に貢献する存在へと進化していかなければなりません。皆さまと共に、歴史を紡ぎ、未来を創っていきたく思います。

長い間倶楽部を支えてきた会員の皆さまに、新会員の皆さまも加わっていただき、より一層発展させ、倶楽部の役割を深め、公益事業を推進して参りましょう。イベント等で皆さまにお会いできるのを楽しみにしております。

このたびは大久保氏より理事長を引き継ぐことになりました。北海道倶楽部創設100周年を来年に控えたこの時期に理事長の大役を拝命し、非常に身の引き締まる思いです。

北海道倶楽部創設から100年の歴史は、戦争、戦後復興、高度成長、長期デフレ、そして直近では新型コロナウイルス禍と、平坦な道のみではありませんでしたが、倶楽部が現在に至るまで発展を遂げることができたのは創設以来会員として活動に参画してこられた先輩各位のご尽力のおかげであり、衷心より敬意を表する次第です。

先輩方からその志を受け継いだ今、まずは100周年記念事業に取り組み、合わせて次の100年においても倶楽部が引き続き発展を遂げられるよう、会員数増加、財務基盤強化、運営インフラ整備などの課題に着実に取り組んでまいります。そのためには維持会員企業、登録会員、正会員各位の活動への参加・協力が非常に重要かつ不可欠です。皆さまのご支援を力に、小林新会長とともに北海道倶楽部の発展に尽力し、北海道振興に寄与してまいる所存です。どうぞよろしくご願ひ申し上げます。